



寒さも深まる中、2009年も残すところ1か月を切りました。

7日 大雪、22日 冬至、23日 天皇誕生日、25日 クリスマス、
31日 大晦日 弊所の年末年始休業は12/29(火)～1/4(月)です。

December 案内

<賞与支払届>

賞与の時期となり、支給後5日以内に「賞与支払届」を出します。各事業所様にFDと支払届の書類が届いています。予定月が社会保険事務所に登録されており、予定月に支給しない場合でも「不支給」として書類を提出しなければなりません。

保険料計算では、月々の給与と同じ料率ですが、

☆9月に健康保険・厚生年金の保険料率に変更されていますので、設定変更を忘れないようにしてください。注意点は以下の通りです。

- ① 賞与の保険料計算の対象支給額の上限・・・健康保険は年度の累計額で540万円が上限
厚生年金保険は150万円、
- ② 賞与の額の1,000円未満の端数は切り捨てて計算
- ③ 本人からは、健康保険 40.95/1000、介護保険 5.95/1000、厚生年金保険 78.52/1000
- ④ 雇用保険も月々給与と同様 4/1000 注※健康保険料率は愛知県の場合
- ⑤ 賞与支給後に月末日以外の退職者は要注意です。今月が被保険者ではなかったこととなり、保険料徴収が不要となります。

2. 名言名句

「励むときにはよくよく励め つゆも心を散らすな よそへ」

(坪内家家訓 坪内逍遙)

3. 改正情報ワンポイント

1 <改正育児・介護休業法の施行スケジュール>

厚生労働省は11/20、育児介護休業法施行規則の一部を改正する省令案要綱などを労働政策審議会に諮問しました。省令案要綱では、育児休業を申し出た労働者に休業の開始と終了予定日などを文書や電子メールで通知するよう企業に義務付けています。

- (1) 3歳未満の子どもを持つ労働者への短時間勤務制度の導入・所定外労働の免除の制度化
- (2) 子の看護休暇の拡充 (3) 男性の育児休業取得促進策 (パパ・ママ育休プラス等)
- (4) 介護休暇の創設、の施行予定日を2010年6月30日とすると発表しました。

ただし(1)(4)については従業員100人以下の企業における施行期日(予定)は、2012年6月30日となっています。

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2009/11/s1120-7.html>

- 2 来年は上記の育児・介護休業法の改正のほか、先月号までで随時案内してきました「労基法の改正」があります。就業規則の変更へ向けて事業所様ごとに、来年1月-2月で提案してゆきます。3月には変更届の提出予定です。また、今月は1月-12月の「1年単位の變形労働時間制」の労使協定届や時間外協定届を労働基準監督署へ提出時期となっています。

4. データ・情報

① 厚生労働省と文部科学省は11/19、2009年度大学等卒業予定者の就職内定状況調査(10月1日現在)の結果を発表した。大学生の内定率は62.5%で、前年同期より7.4ポイント低下し、調査開始(1996年)以降最大の下落幅となった。男女の内定率がそれぞれ63.3%(前年同期比6.5ポイント低下)、61.6%(同8.5ポイント低下)となったほか、短期大学の内定率(女子学生のみ)が前年同期を10.4ポイント下回り29.0%になるなど、厳しい就職環境が浮き彫りになった。

② 厚生労働省は11/18、2009年賃金構造基本統計調査結果(初任給)の概況を発表した。大卒者の初任給は19万8,800円で前年と比べ0.1%増加。男女別では、男子が20万1,400円(対前年増減率0.0%)、女子は19万4,900円(同0.2%増)だった。企業規模別では、大企業(常用労働者1,000人以上)は0.7%増加したが中企業(同100~999人)は0.2%減、小企業(同10~99人)は0.9%減となった。高卒者の初任給は0.1%上昇し、15万7,800円となっている。

③ 厚生労働省は、介護職員の賃金改善のための交付金事業(介護職員処遇改善交付金)について、介護事業所の申請率が10月末時点で約72%だったと発表した。前回の集計(10月9日時点で約48%)より改善されたが、3割は申請を見送っている状況が明らかになった。

④ 10月の完全失業率は前月に比べ0.2ポイント低下の5.1%で、3カ月連続で改善した。男性は5.3%(前月比0.3ポイント低下)、女性は4.8%(同0.1ポイント低下)。完全失業者数は344万人で前年同月に比べ89万人増え、12カ月連続の増加となった。10月の有効求人倍率は0.44倍と前月に比べて0.01ポイント上昇し、2カ月連続で改善した。正社員の有効求人倍率は0.27倍で前年同月を0.25ポイント下回った。新規求人(原数値)は前年同月比で18.8%減。産業別では、前月に引き続き、情報通信業(38.6%減)、製造業(31.4%減)、卸売業・小売業(25.9%減)等で落ち込んでいる。

⑤ 今年6月1日時点における障害者雇用率(民間企業で働く障害者の全労働者数に占める割合)が1.63%で過去最高となったことが、厚生労働省の調査で明らかになった。法定雇用率を達成した企業は3万2,891社(達成率45.5%)だった。



↑今年、残念ながら全廃となった在りし日の「名鉄パノラマカー」金山駅

T-HRM Tanaka Human Resources Management

2009年も1か月を切りました。政権交代があった激変の1年といって良いのでしょうか。しかし、昨年のトヨタショック以降の景気の落ち込みはひどく、回復きざしは1年経った今も、そして民主党に政権交代となっても感じられませんが、天下り禁止で徹底的なムダを省いてゆくのとは望まれているところですが、なんでもかんでもストップというのは、景気回復に水を差すのではないかと、特に建設関係での「公共工事は減らすな!」という、タレント板東英二氏が訴えたTV番組では、その番組の中では多数決で否決されましたが、板東氏の考えは随分と説得力がありました。急激な変化が必要なものとそうでないものがあると思いますが、民主党のやり方で良いのか国民はしっかりと見続けなければなりません。

来年は「寅年」です。寅年→虎→黄色→幸福の色という具合に、明るく過ごせる年になることをお祈りいたします。

(田中 智)